

京都市消費者物価指数 平成24年平均（平成22年基準）

総合指数は 100.0 前年比 0.1%の下落

— 生鮮食品を除く総合は 99.9 前年比 0.1%の下落 —

府調査統計課生活統計担当

概 況

- (1) **総合指数** は100.0となり、前年比は0.1%下落しました。
- (2) **生鮮食品を除く総合指数** は99.9となり、前年比は0.1%下落しました。

(3) 前年との比較

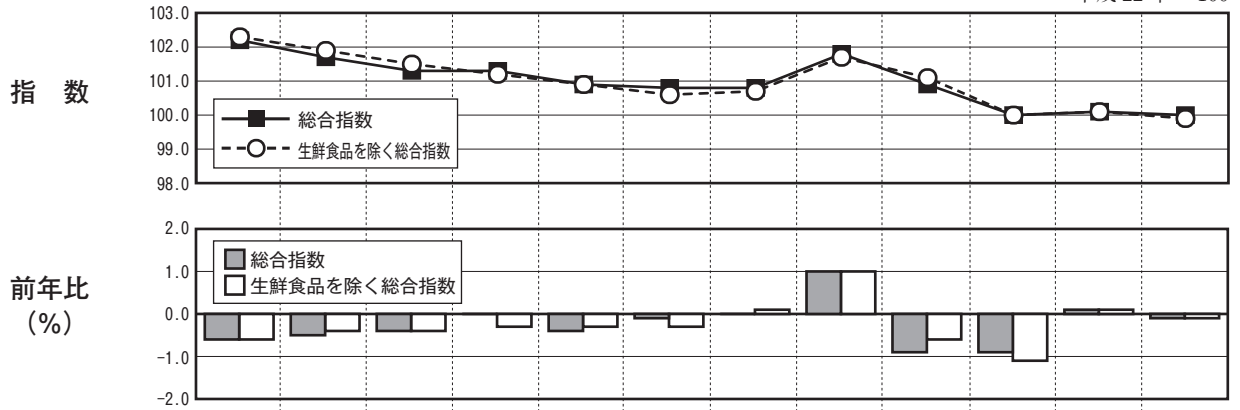
(上昇したもの)

光熱・水道 3.6%、食料 0.2%、交通・通信 0.2%、被服及び履物 0.5%、教育 0.3%

(下落したもの)

教養娯楽△1.5%、家具・家事用品△3.8%、諸雑費△1.6%、住居△0.2%、保健医療△0.8%

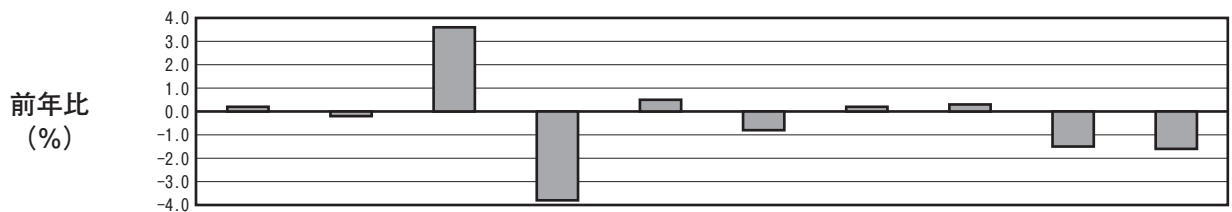
総合指数の推移



年	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
総合指数	102.2	101.7	101.3	101.3	100.9	100.8	100.8	101.8	100.9	100.0	100.1	100.0
前年比 (%)	△0.6	△0.5	△0.4	0.0	△0.4	△0.1	0.0	1.0	△0.9	△0.9	0.1	△0.1
生鮮食品を除く総合指数	102.3	101.9	101.5	101.2	100.9	100.6	100.7	101.7	101.1	100.0	100.1	99.9
前年比 (%)	△0.6	△0.4	△0.4	△0.3	△0.3	△0.3	0.1	1.0	△0.6	△1.1	0.1	△0.1

費目別

(1) 前年からの動き



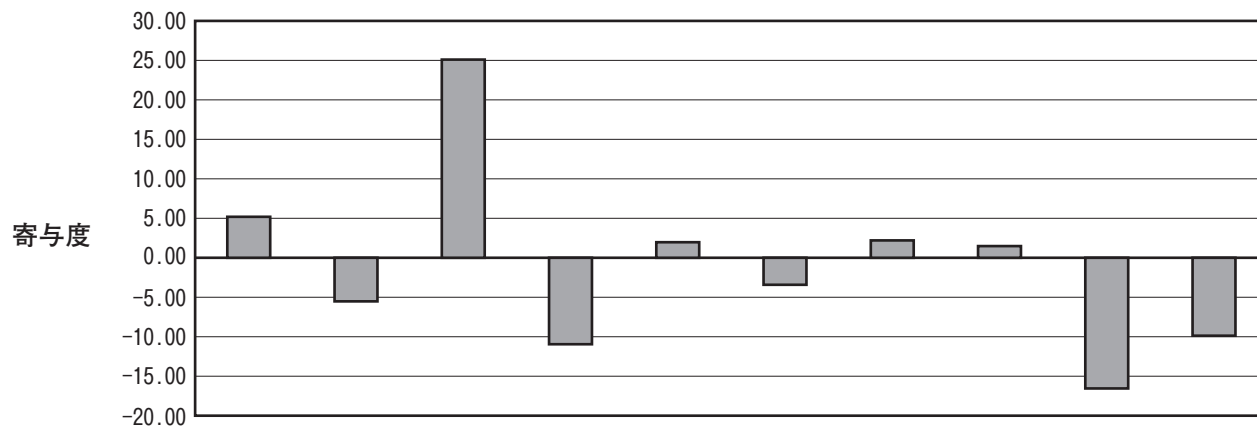
費目	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	100.0	100.5	105.9	92.0	101.8	98.6	101.1	98.8	96.0	101.7
前年比 (%)	0.2	△0.2	3.6	△3.8	0.5	△0.8	0.2	0.3	△1.5	△1.6

(注1) 総務省統計局『小売物価統計調査』の調査票を独自集計したものです。
 (注2) 費目・品目の配列は、寄与度（総合指数の上昇率に対する影響度）の大きいものから順になっています。なお、本資料の寄与度は、実際の寄与度に100を乗じた数値です。
 (注3) 前年比は各基準年の公表値とし、22年基準の指数値による再計算は行っていません。（斜体部分）
 (注4) 平成22年基準改定により、平成23年以降の前年比は端数処理前の数値を用いて計算しています。

(2) 寄与度でみると

寄与度は、総合指数の上昇率に対する影響度を表します。前年からの動きを費目別の寄与度で見ると下図のとおりとなり、総合指数の上昇

に最も寄与したのは光熱・水道、下落に最も寄与したのは教養娯楽となります。



費目	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
寄与度	5.19	△ 5.52	25.10	△ 10.95	1.97	△ 3.42	2.20	1.48	△ 16.55	△ 9.87

食料 は100.0となり、前年に比べ0.2%上昇しました。
(上昇したもの)

- 穀類 3.0% (国産米など)
- 調理食品 1.6% (うなぎかば焼きなど)
- 生鮮果物 4.6% (りんご(ふじ)、いちごなど)

(下落したもの)

- 肉類 △ 2.0% (牛肉(国産品)、鶏肉など)
- 生鮮野菜 △ 1.8% (じゃがいも、ねぎなど)
- 菓子類 △ 1.3% (まんじゅうなど)

住居 は100.5となり、前年に比べ0.2%下落しました。
(下落したもの)

- 設備修繕・維持 △ 2.1% (温水洗浄便座、システムバスなど)

光熱・水道 は105.9となり、前年に比べ3.6%上昇しました。
(上昇したもの)

- ガス代 6.4% (都市ガス代など)
- 電気代 3.5% (電気代)
- 他の光熱 5.5% (灯油)

家具・家事用品 は92.0となり、前年に比べ3.8%下落しました。
(下落したもの)

- 家庭用耐久財 △ 12.0% (全自動洗濯機、電気炊飯器など)

(上昇したもの)

- 家事雑貨 1.9% (マットなど)

被服及び履物 は101.8となり、前年に比べ0.5%上昇しました。
(上昇したもの)

- シャツ・セーター類 2.5% (婦人Tシャツ(半袖)など)

(下落したもの)

- 履物類 △ 3.1% (運動靴、婦人靴など)

保健医療 は98.6となり、前年に比べ0.8%下落しました。
(下落したもの)

- 保健医療用品・器具 2.3% (血圧計、ヘルスメーターなど)
- 医薬品・健康保持用摂取品 △ 1.3% (サプリメントなど)

交通・通信 は101.1となり、前年に比べ0.2%上昇しました。
(上昇したもの)

- 自動車等関係費 0.9% (自動車保険料(任意)など)

(下落したもの)

- 通信 △ 0.7% (携帯電話機など)

教育 は98.8となり、前年に比べ0.3%上昇しました。
(上昇したもの)

- 授業料等 0.5% (私立大学授業料など)

教養娯楽 は96.0となり、前年に比べ1.5%下落しました。
(下落したもの)

- 教養娯楽用耐久財 △ 7.9% (ノートパソコン、テレビ、ビデオレコーダーなど)
- 教養娯楽サービス △ 0.6% (外国パック旅行、インターネット接続料など)

諸雑費 は101.7となり、前年に比べ1.6%下落しました。
(下落したもの)

- 理美容用品 △ 4.2% (化粧水、電気かみそりなど)
- 身の回り用品 △ 3.9% (ハンドバッグなど)

表 1 京都市中分類指数

平成 22 年 = 100

中 分 類	京 都 市					全 国	
	平成 24 年			平成 23 年		平成 24 年	
	指数	前年比 (%)	寄与度	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
総合	100.0	△ 0.1		100.1	0.1	99.7	0.0
食料	100.0	0.2	5.2	99.8	△ 0.2	99.7	0.1
穀類	102.8	3.0	7.2	99.8	△ 0.2	101.3	2.9
魚介類	103.8	1.3	3.0	102.4	2.4	101.4	1.0
肉類	97.7	△ 2.0	△ 5.2	99.7	△ 0.3	99.0	△ 0.9
乳卵類	97.1	△ 2.4	△ 2.6	99.4	△ 0.6	98.1	△ 2.2
野菜・海藻	98.1	△ 0.5	△ 1.6	98.6	△ 1.4	97.3	△ 0.5
果物	105.9	4.3	3.8	101.6	1.6	103.4	2.7
油脂・調味料	98.6	△ 1.2	△ 1.3	99.7	△ 0.3	97.9	△ 1.3
菓子類	98.0	△ 1.3	△ 3.0	99.3	△ 0.7	98.9	△ 0.6
調理食品	102.5	1.6	4.8	100.9	0.9	101.2	0.7
飲料	98.0	△ 1.5	△ 2.0	99.4	△ 0.6	98.4	△ 1.1
酒類	98.4	△ 1.1	△ 1.5	99.5	△ 0.5	97.7	△ 1.3
外食	99.5	0.6	3.4	98.8	△ 1.2	100.2	0.0
住居	100.5	△ 0.2	△ 5.5	100.7	0.7	99.5	△ 0.3
家賃	100.6	△ 0.1	△ 1.2	100.7	0.7	99.4	△ 0.4
設備修繕・維持	99.0	△ 2.1	△ 4.4	101.1	1.1	99.9	0.1
光熱・水道	105.9	3.6	25.1	102.2	2.2	107.3	3.9
電気代	105.5	3.5	10.7	101.9	1.9	108.8	5.9
ガス代	109.7	6.4	13.1	103.1	3.1	107.0	4.0
他の光熱	123.3	5.5	1.3	116.8	16.8	120.7	1.9
上下水道料	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.4	0.3
家具・家事用品	92.0	△ 3.8	△ 11.0	95.6	△ 4.4	91.7	△ 2.9
家庭用耐久財	78.5	△ 12.0	△ 10.8	89.2	△ 10.8	78.7	△ 8.8
室内装備品	92.8	△ 1.6	△ 0.3	94.3	△ 5.7	95.1	△ 1.6
寝具類	102.1	△ 2.2	△ 0.5	104.3	4.3	101.6	1.8
家事雑貨	102.0	1.9	1.2	100.1	0.1	101.4	1.6
家事用消耗品	96.4	△ 0.9	△ 0.7	97.3	△ 2.7	96.2	△ 1.9
家事サービス	99.7	△ 0.1	△ 0.0	99.8	△ 0.2	99.6	△ 0.1
被服及び履物	101.8	0.5	2.0	101.3	1.3	99.7	0.0
衣料	100.2	0.3	0.6	99.9	△ 0.1	100.0	0.0
和服	100.8	3.1	0.3	97.7	△ 2.3	101.4	0.6
洋服	100.2	0.2	0.3	100.0	0.0	99.9	△ 0.1
シャツ・セーター・下着類	104.6	1.9	2.5	102.7	2.7	100.0	0.3
シャツ・セーター類	106.6	2.5	2.3	104.0	4.0	100.7	0.7
下着類	99.8	0.5	0.2	99.3	△ 0.7	98.6	△ 0.5
履物類	102.1	△ 3.1	△ 1.7	105.4	5.4	98.2	△ 0.5
他の被服類	100.0	2.1	0.7	97.9	△ 2.1	99.1	△ 0.3
被服関連サービス	100.3	0.3	0.1	100.0	0.0	100.2	0.1
保健医療	98.6	△ 0.8	△ 3.4	99.3	△ 0.7	98.5	△ 0.8
医薬品・健康保持用摂取品	97.4	△ 1.3	△ 1.4	98.7	△ 1.3	95.8	△ 2.2
保健医療用品・器具	96.2	△ 2.3	△ 2.1	98.4	△ 1.6	98.4	△ 1.3
保健医療サービス	100.1	0.1	0.2	100.0	0.0	100.2	0.2
交通・通信	101.1	0.2	2.2	100.9	0.9	101.5	0.3
交通	100.4	0.1	0.3	100.3	0.3	101.0	0.1
自動車等関係費	103.4	0.9	4.1	102.6	2.6	103.1	0.9
通信	98.2	△ 0.7	△ 2.2	98.9	△ 1.1	98.3	△ 1.0
教育	98.8	0.3	1.5	98.4	△ 1.6	98.2	0.3
授業料等	99.2	0.5	1.6	98.6	△ 1.4	97.3	0.3
教科書・学習参考教材	102.1	1.9	0.1	100.1	0.1	102.0	1.9
補習教育	97.8	△ 0.1	△ 0.1	97.9	△ 2.1	100.0	0.2
教養娯楽	96.0	△ 1.5	△ 16.6	97.4	△ 2.6	94.5	△ 1.6
教養娯楽用耐久財	71.7	△ 7.9	△ 11.0	77.8	△ 22.2	66.0	△ 8.9
教養娯楽用品	96.6	△ 1.2	△ 2.1	97.8	△ 2.2	97.2	△ 1.1
書籍・他の印刷物	100.6	0.4	0.6	100.2	0.2	100.7	0.5
教養娯楽サービス	101.7	△ 0.6	△ 3.9	102.4	2.4	100.0	△ 0.8
諸雑費	101.7	△ 1.6	△ 9.9	103.3	3.3	103.5	△ 0.2
理美容サービス	100.6	△ 0.2	△ 0.3	100.8	0.8	99.5	△ 0.1
理美容用品	94.2	△ 4.2	△ 5.7	98.3	△ 1.7	97.5	△ 1.1
身の回り用品	94.7	△ 3.9	△ 3.8	98.5	△ 1.5	99.3	0.1
たばこ	126.2	0.0	0.0	126.2	26.2	126.2	0.0
他の諸雑費	105.4	△ 0.1	△ 0.3	105.5	5.5	105.5	0.1
生鮮食品	100.9	0.5	2.2	100.4	0.4	99.6	0.5
生鮮魚介	105.6	1.2	1.7	104.3	4.3	101.6	0.7
生鮮野菜	95.7	△ 1.8	△ 3.5	97.4	△ 2.6	96.1	△ 0.7
生鮮果物	106.2	4.6	3.9	101.5	1.5	103.3	2.7
生鮮食品を除く総合	99.9	△ 0.1	△ 13.6	100.1	0.1	99.7	△ 0.1
生鮮食品を除く食料	99.8	0.1	3.2	99.6	△ 0.4	99.7	0.0
持家の帰属家賃を除く総合	99.9	△ 0.1	△ 8.3	100.0	0.0	99.7	0.0
持家の帰属家賃を除く住居	100.0	△ 0.9	△ 5.1	101.0	1.0	99.5	△ 0.2
持家の帰属家賃を除く家賃	100.6	△ 0.2	△ 0.7	100.8	0.8	99.2	△ 0.5
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	99.8	△ 0.2	△ 13.2	100.0	△ 0.1	99.7	0.0
エネルギー	108.4	3.8	25.7	104.4	4.4	109.8	3.7
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	99.2	△ 0.7	△ 44.0	99.8	△ 0.2	98.5	△ 0.6
教育関係費	99.2	0.6	3.0	98.6	△ 1.4	98.6	0.4
教養娯楽関係費	96.4	△ 1.4	△ 16.5	97.7	△ 2.3	95.0	△ 1.5
情報通信関係費	99.1	△ 0.8	△ 3.4	99.9	△ 0.1	99.3	△ 0.7

注1 この表の寄与度は、実際の寄与度に100を乗じた数値です。

図 京都市 10 大費目指数—年平均指数の推移—

(平成 22 年 = 100)

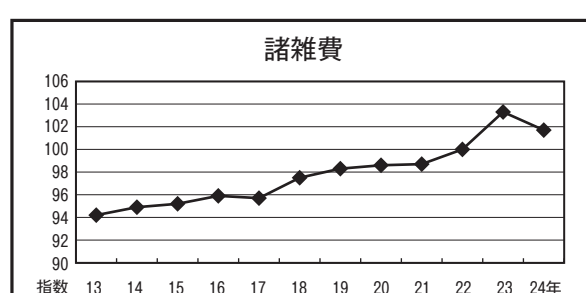
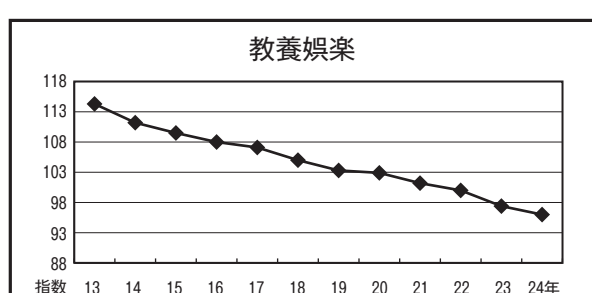
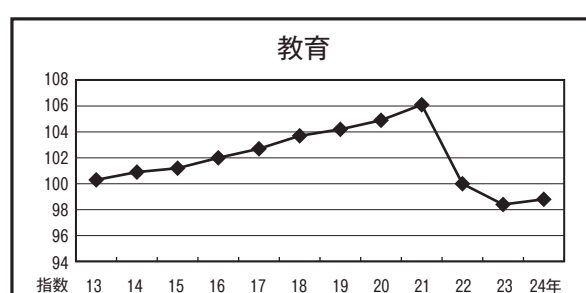
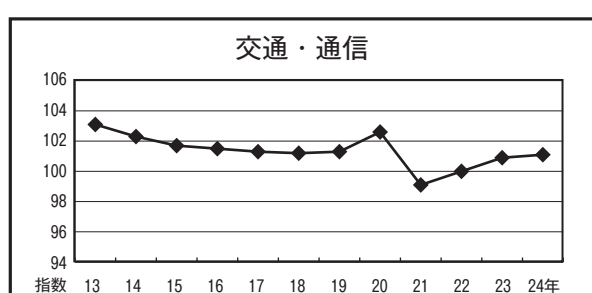
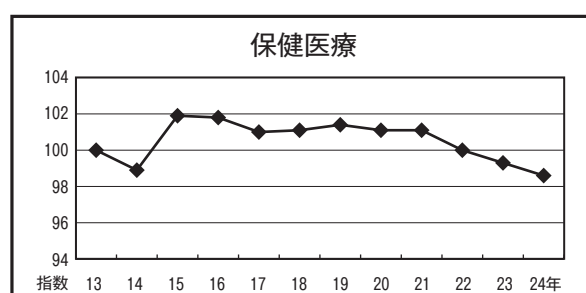
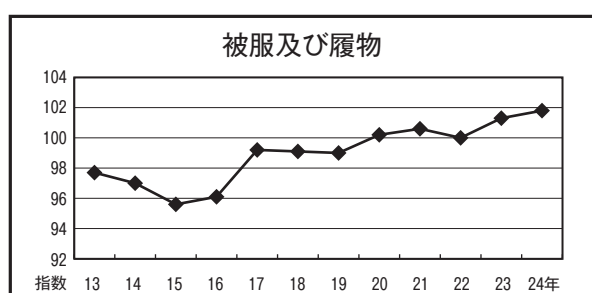
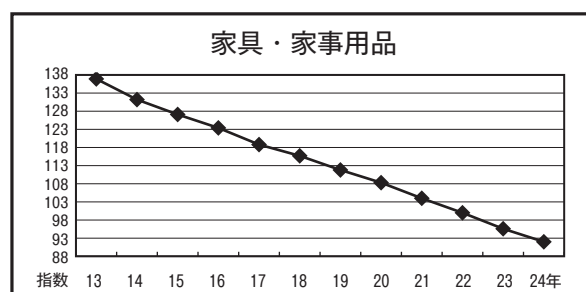
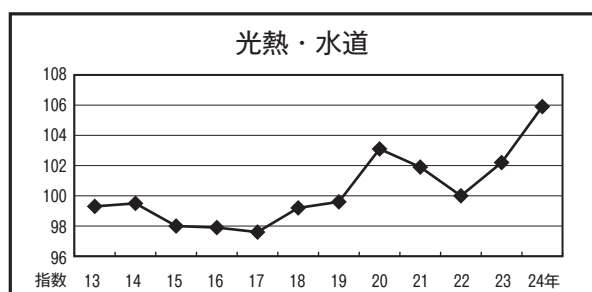
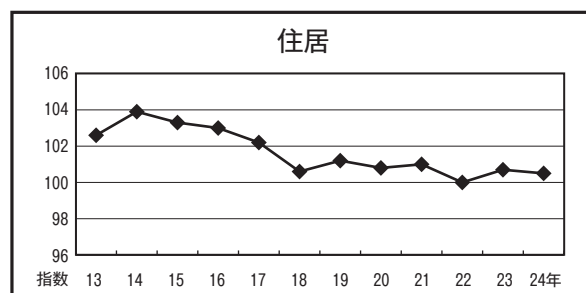
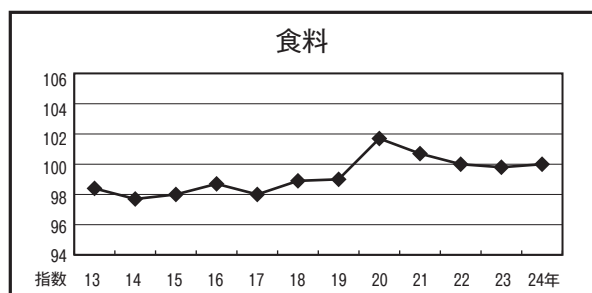
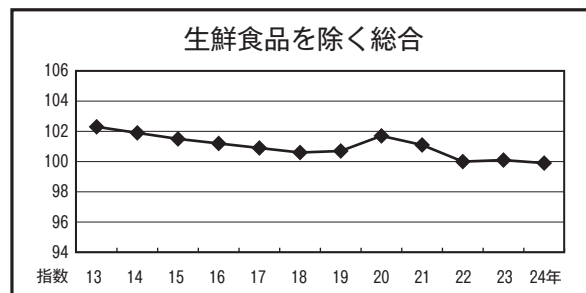
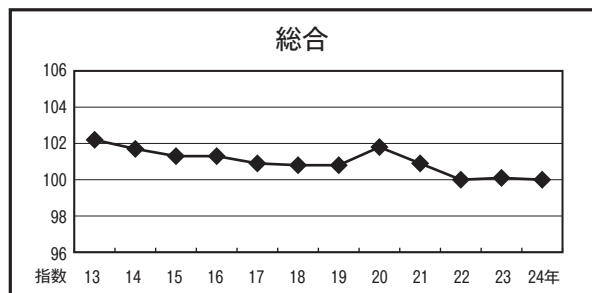


表2 京都市 財・サービス分類指数

平成22年 = 100

財・サービス分類	平成24年 平均	平成23年 平均	前年比 (%)	
			平成24年 平均	寄与度
総合	100.0	100.1	△ 0.1	
財	99.3	99.6	△ 0.3	△ 14.7
生鮮食品を除く財	99.3	99.5	△ 0.2	△ 9.1
農水畜産物	100.2	99.9	0.4	3.0
生鮮商品	99.5	100.2	△ 0.7	△ 5.2
他の農水畜産物	106.8	97.0	10.2	8.1
米類	107.3	97.0	10.6	8.0
工業製品	97.8	99.1	△ 1.3	△ 41.1
食料工業製品	99.9	100.0	△ 0.1	△ 1.8
繊維製品	101.5	100.7	0.8	3.3
石油製品	112.8	111.4	1.2	1.9
他の工業製品	92.7	96.2	△ 3.6	△ 45.0
電気・都市ガス・水道	106.0	102.0	3.9	23.7
出版物	100.7	100.2	0.5	0.8
サービス	100.6	100.5	0.1	4.4
持家の帰属家賃を除くサービス	100.6	100.5	0.1	3.9
公共サービス	100.9	100.4	0.4	5.3
公営・都市再生機構・公社家賃	100.1	100.0	0.1	0.2
家事関連サービス	103.6	102.5	1.1	4.1
医療・福祉関連サービス	100.0	100.0	0.0	0.0
運輸・通信関連サービス	100.3	100.2	0.1	0.2
教育関連サービス	80.7	80.7	0.0	0.0
教養娯楽関連サービス	99.8	98.9	1.0	0.7
一般サービス	100.5	100.5	0.0	△ 1.0
外食	99.5	98.8	0.6	3.4
民営家賃	101.0	101.4	△ 0.4	△ 0.9
民営家賃（木造）	100.8	100.6	0.2	0.1
民営家賃（非木造）	101.0	101.7	△ 0.6	△ 1.0
持家の帰属家賃	100.6	100.7	△ 0.1	△ 1.1
持家の帰属家賃（木造）	101.0	100.8	0.2	2.1
持家の帰属家賃（非木造）	99.7	100.3	△ 0.6	△ 3.2
他のサービス	100.7	100.9	△ 0.2	△ 3.5
家事関連サービス	100.3	100.3	0.0	0.0
医療・福祉関連サービス	99.7	100.4	△ 0.7	△ 0.2
教育関連サービス	99.7	99.4	0.3	1.3
通信・教養娯楽関連サービス	101.4	102.1	△ 0.7	△ 5.0
<< 別 掲 >>				
耐久消費財	83.4	89.3	△ 6.6	△ 30.0
半耐久消費財	99.8	100.2	△ 0.4	△ 2.8
非耐久消費財	101.5	101.0	0.5	18.9
公共料金	103.1	101.5	1.5	29.1